

(社) 日本原子力学会
第 96 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 29 年 3 月 16 日 (木) 10:00~17:00
場 所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 26 階 第 1 会議室
出席者 大場委員長、三村副委員長、宇奈手幹事、伊藤委員、神谷委員、中野委員、中村委員、
奈良林委員、原田委員、福家委員 (10 名 : 委員名簿順)
北村氏、作田氏 (オブザーバー)

配布資料

- 資料96-1 : 第95回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料96-2 : 2016年度倫理研究会結果報告資料
- 資料96-3 : 2017年春の年会企画セッション関連資料
- 資料96-4 : 再稼動に係る審査、承認の事例集に関するタスク検討会資料、議事録
- 資料96-5 : 倫理規程見直しに関する資料

議事

1. 資料 96-1 により、前回議事要旨(案)を確認した。一部誤記等、修正することで了承された。
2. 資料 96-2 により倫理研究会の結果について協議した。
 - ・ 倫理規程の各項目に対する参加者の関連度と実現度を集計した結果は、バラツキがあるが特徴的に低いものが認められる。但し、規程の表現や扱っている内容の難易度がデータに表れていることも考えられる。
 - ・ 憲章 1 が低く表れたが、それは“人類の生存の質”や“地球環境の保全”という大きなテーマを扱ったものが含まれているため、自身の業務と上手く繋がらなかった可能性が高い。
 - ・ (事例 5 に関連するアンケートで、正しい意見を述べることと職位の関係についての記載から、)組織の集団特性と倫理規程との相関について追及する必要がある。次回の研究会テーマ候補として考えられる。
3. 資料 96-3 により 2017 年春の年会企画セッションの準備状況について確認した。また、その後の倫理研究会や秋の大会企画セッションの方向性についても協議した。
 - ・ 今回の企画セッションでは一般聴講者の積極的な参加を促すため、大学関係者にも案内を出す。
 - ・ 聴講者アンケートを準備する。なお、受容性に関する意見を記載して頂けるような自由記述欄を設けることとする。(アンケートの内容は、講演者に確認することとする)
 - ・ 次回の倫理研究会は今回の企画セッションでのテーマを継続する方向とする。なお、学生にも積極的に参加してもらうことを検討する。
 - ・ 秋の大会(北大)では、泊発電所での活断層に関する諸課題について北海道電力殿に講演を依頼する方向で検討する。
4. 資料 96-4 により再稼動に係る審査、承認の事例集に関する協議について、追加情報を共有しながら意見交換を行った。本日の議論も踏まえ、倫理規程に照らし合せながら文章にまとめる。(4 月中を目処)
 - ・ 有識者会合やピアレビューなど全体の建付け(フレームワーク)に疑義がある。議論の進め方では、不確実性の高い論拠で“活断層”と結論付ける状況も議論の対象。

- ・ 各会議体においてグレーゾーンの扱いに疑義あり。また、会議にて委員が不適切な発言をした場合に正していく仕組みも不十分と思われる。
 - ・ 人選において、評価対象に照らして専門家のミスマッチや偏りが考えられる。
5. 資料96-5に基づき倫理規程見直しに関する協議を実施した。下記基本方針の下、今後、章毎に手分けして見直し案を策定し(4/Eまで)、約2週間の委員による全体レビューを経て次回委員会にて最終化していくこととした。

【見直し基本方針】

- ・ 全体が長いので、前文と憲章のみで理解できるようにする
 - ・ 行動の手引きは1.5行から2行となるよう簡潔にする
 - ・ 憲章1は理解しやすい表現に見直す
6. 次回の倫理委員会はH29年5月22日の週で13：30～(場所未定)とした。

以上